

平成25年度 第4回感染防止対策加算地域連携合同カンファランス議事録

(主催：長崎大学病院)

日時：平成25年11月29日 17:00～

場所：長崎大学病院1階 第3講義室

出席者：別紙

実施内容（総合司会：塚本 美鈴）

1. 主催者挨拶

長崎大学病院感染制御教育センター長 泉川 公一より開催の挨拶を行った。

2. de novo肝炎について

免疫抑制剤等使用中のde novo肝炎について、安全管理部 栗原 慎太郎より概要と注意喚起がなされた。

3. 事前アンケート結果、各施設のサーベイランスデータについて

感染制御教育センター 小佐井 康介より、事前に行った「職員の結核曝露予防策に関するアンケート」の結果や、各施設における多剤耐性菌の検出状況について説明を行った。

4. 各施設からの発表

中対馬病院、五島中央病院、田上病院より発表があった。ケアバンドルの使用による成功点と問題点等、ICT活動に関する報告、製氷機の管理や感染制御教育センターが行ったラウンド内容等について発表があった。

5. 手指衛生サーベイランス

感染制御教育センター 寺坂 陽子より手指衛生サーベイランスの趣旨説明とアンケートへの回答をお願いした。

6. HIV曝露時の予防投薬について

市立大村市民病院 安岡 彰 先生よりHIV曝露時の予防投薬について、米国における推奨レジメンが変更になった旨、発表があった。

7. ディスカッション、質疑応答

各施設からの報告内容について活発な討論が行われた。製氷機の管理や職員・入職者のツベルクリン反応／IGRAについては今後アンケート等で現状を把握し、討議する予定とした。

※ 市立大村市民病院の安岡 彰 先生にアドバイザーとして参加をお願いし、上記発表や製氷機の管理に関する貴重なご意見をいただいた。

※ 次回は、1月24日(金)の予定とした。